

市立四日市病院 研修医 2 年目 愛知 千明

紀南病院での 1 ヶ月間はあっという間に過ぎ、早くも研修期間の終わりを迎えようとしています。まずは、お世話になった先生方、職員の方々、住民の方々に深く感謝を申し上げます。特に指導医の池田先生には治療方針について考える時間と、適切なフィードバックをいただき、本当に感謝しております。さらに仕事だけでなく仕事終わりにジョギングに連れて行っていただいたり、いろいろな世間話をしていただいたりと、充実した研修生活にすることができました。慣れない土地での生活や、普段と違う病院での業務は、自分にとって辛い時もありましたが、新しく学べたことも多くあり、有意義な研修であったと胸を張って言えます。今回の経験を糧にしつつ、今後とも弛まぬ努力を続けて参りたいと思います。



済生会松阪総合病院 研修医 2 年目 加藤 瑞季

1 か月間、紀南病院でお世話になりました。大学時代には県内の様々な地域の病院で実習をさせていただいたことはありましたが、紀南病院のある東紀州地域での研修は初めてでした。滞在中は雨の日が多かったため、なかなか出歩く機会は少なかったですが、近くに海があり、山があり、自然に囲まれた素敵な地域だと感じました。それと同時に人と人の距離も近く、病院関係者の方々をはじめ、地域住民の方々にもとても親切にいただき、充実した研修を送ることが出来ました。この研修では、今までやってきた研修とは違い、診療所研修や離島研修ではその地域ごとに必要な医療が違って、それを実現するために他の医療機関や市町村との連携も重要であると感じました。また、訪問診療に関しては初めて経験させていただきました。訪問診療の実現はなかなか難しい部分もあると思いますが、“家で過ごしたい”という患者さん本人の希望を叶えてあげられる場であることも実感しました。実際に入院中に見ていた患者さんのお宅を訪問させていただいた時、入院していた時よりも自宅で穏やかに過ごされている姿を見て、訪問診療の役割やその重要性も実感しました。1 か月と短い間ではありましたが、紀南病院で研修させていただき、たくさんのことを学ぶことが出来たと思います。今回学んだことを今後の医師人生に活かしていきたいと思っています。1 か月間本当にありがとうございました。



三重大学医学部附属病院 研修医 2 年目 長嶋 一訓

出身は熊野市有馬町で、紀南病院には昔からお世話になり、高校生の頃から研修報告会に参加し、色々な先生とお話しさせて頂いた思い出があります。そんな場所に医者として勉強させて頂いている事は大変光栄に思います。地元出身とはいえ、身内に医療関係者はいないため、実際どういう医療をしているのか学ぶ機会がありませんでした。1 ヶ月研修してみても思ったのはこの地域にとって紀南病院は唯一の総合病院であり、地元の方々はここで死ぬまで診てくれという方が多い事に驚きました。そのため、救急車も含めほぼ断らない医療で、かなり忙しかったです。研修医と指導医やその他のコメディカルの方々の距離が非常に近く、積極的に患者さんの治療方針や退院後の事を相談したりするのは大学病院で働いている私にとってはかなり新鮮でした。ここ 1 ヶ月は初めての事が多く、色々な方にご迷惑をおかけしました。私は来年の 1 月まで研修させて頂きますので、少しでも力になれるよう頑張りますので、宜しくお願い致します。



三重大学医学部附属病院 研修医 2 年目 橋本 渚

津市から一本道を、車を運転しながら、約 2 時間かけて紀南病院まで来て、あっという間の 1 ヶ月間でした。紀南病院では、医師同士だけでなくコメディカルの方との距離が近く、すれ違う方全員と挨拶するような関係性でした。話は変わりますが、熊野市にある、老舗和菓子屋のたい焼きは絶品で、サクサクとした食感となっています。あんこも甘過ぎずしょっぱ過ぎず、粒あんの皮はめちゃうちゃ食感が残っている訳ではないので、こし餡派の方にもオススメです。最後に、1 ヶ月という短い期間ではありましたが、紀南病院の方々だけでなく、関わった全ての方に、心より感謝を申し上げたいと思います。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

